



発行 愛知県眼鏡小売商協同組合 <http://www.aaaichi.pupu.jp/>

発行人 平岩幸一 編集人 石川洋一



技能検定

「眼鏡作製職種」を新設

令和4年度より技能検定試験スタート

厚生労働省は8月13日「職業能力開発促進法施行規則」および「職業能力開発促進法第47条第1項に規定する指定試験機関の指定に関する省令」の一部を改正し「技能検定」の職種に「眼鏡作製職種」の新設を公布(施行)しました。

技能検定試験の概要

- 技能検定「眼鏡作製職種」は多様化・高度化する顧客のニーズに伴い「適切な診断・治療」と「適切な眼鏡作製」の双方の実現に向けて、眼鏡技術者が眼科専門医と連携しつつ国民により良い眼鏡を提供し目の健康を守れるよう眼鏡作製の技能を高めていくことを目的とする。
- 「眼鏡作製」(眼鏡を必要とする顧客が視力補正用眼鏡等を選択し購入する際に、眼鏡店において行われる、視力の測定、レンズ加工、フレームのフィッティング等の業務に従事する職種)について、技能検定の職種に追加する。
- 検定対象については、眼科専門医との連携を含め、顧客のニーズに即した適切な眼鏡作製を行うに当たり必要な技能および知識とし、複数等級(1級及び2級)による試験を実施する。
- 試験業務は、指定試験機関として公社日本眼鏡技術者協会が行う。

認定眼鏡士に特例措置

眼鏡技術者国家資格推進機構(岡本育三代表幹事)は、「眼鏡作製職種」技能検定試験の実施要項について説明し、認定眼鏡士対象の特例措置(学科・実技試験の免除)を設けることを明らかにした。

学科試験は今年12月初旬から受検申込み受付を開始し、来年4月に全国8会場で実施する。学科試験合格者が対象の実技試験は、来年7月下旬から9月中旬に全国7会場で実施する。

技能検定制度の開始に伴い公社日本眼鏡技術者協会の認定眼鏡士は、2022年3月末で終了するが、終了時での認定眼鏡士有資格者は、特例講習会を受講し修了試験に合格した場合、眼鏡作製職種技能検定試験が免除される特例措置が受けられる。

初年度の特例講習会は、受付が令和4年3月初旬～5月末、講習会は7月中旬に実施し講習会終了後に修了試験が行われる。

また、眼鏡専門学校卒業生・通信課程修了者を対象に技術者協会が行なう認定眼鏡士の

資格認定の猶予期限も設けた。免除規定の区分、移行期間等の詳細については技術者協会からの発表を注視されたい。

岡本代表幹事は眼鏡作製職種について「重要なのは眼科専門医、視能訓練士との連携がベースとなること。我々の不足する知識を眼

科専門医と視能訓練士に補ってもらうことで、より良い眼鏡が提供できるようになる」と示唆した。

技能検定試験の問い合わせ先は、公社日本技術者協会。眼鏡作製技能士専用 Web ページが今年 11 月頃に開設予定。

平岩理事長の重任決める 書面議決で総会開催

5月18日火午後5時より名古屋都市センターで開催が予定されていた第25期通常総会は、直前に緊急事態宣言が発出されたため昨年に続き書面議決で開催しました。

組合員（組合員総数53名）に事前に総会報告書と補足資料を送付して右記議事についての賛否を書面表決頂くよう案内したところ30名から回答が届きました。

同日午後6時より新理事および監事6名が出席し第1回理事会がリモートで開催され、総会の適法成立ならびに議案全て全員一致で可決承認された旨の報告が為された後、互選で平岩幸一氏の11期連続となる理事長重任

と副理事長、専務理事の三役理事を選任しました。（新役員は4ページ参照）

第25期 愛知県眼鏡小売商協同組合

通常総会議事

- 第1号議案 2020年度事業報告・収支決算承認の件
- 第2号議案 2021年度事業計画・収支予算案承認の件
- 第3号議案 組合賦課金・徴収方法決定の件
- 第4号議案 借入金残高最高限度額決定の件
- 第5号議案 役員改選の件

新春互礼会のご案内

主催 東海眼鏡協議会

令和4年1月18日（火） 東京第一ホテル錦

午後4時より講演会（テーマ未定）を開催。午後6時より開催の懇親会内で「田中恭一オプティカルアワード」表彰式を行います。

新聞広告・折込チラシ等の 広告募集のお願い

平素は公取推進委員会にご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

委員会では健全な眼鏡業界を推進すべくユーザーに安心して眼鏡をお求め頂けるよう定期的に新聞広告・チラシ等の審査会を開催し、不当表示に該当する恐れのある事案については眼鏡公正取引協議会に申告していません。

県内各地域の眼鏡店・企業の新聞広告・折込チラシ等を随時募集していますが、コロナ禍でチラシ等の減少傾向がみられる今日です。組合員皆様には重ねてチラシ等広告の募集にご協力をお願いする所存です。

公取推進委員会 宇佐美太朗

◎ 新聞広告・チラシ等の送付先

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-4

メガネの宇佐美 宇佐美太朗宛て

発送費用を郵便切手で後日お返しします。

第26・27期 委員会構成

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 共同仕入 | 宇佐美太朗 | 猪子裕史 | 鈴木雅博 |
| 共同販促 | 小林正一 | 井上敬康 | 服部守※ |
| 教育 | 井上敬康 | 猪子裕史 | 飯田勝久 |
| 財務 | 天野賢一 | 渡辺博史 | |
| 親睦 | 原重夫 | 小林正一 | 大井清 |
| 広報 | 石川洋一 | 宇佐美太朗 | 鈴木雅博 |
| 公取推進 | 宇佐美太朗 | 石川洋一 | 渡辺博史 |
- ※ 理事外委員



斬新で革新的なアイデアを募集

田中恭一オプティカルアワード応募始まる

東海眼鏡協議会（平岩幸一代表幹事）は、株メニコン創業者会長の田中恭一氏より「眼鏡関連技術の発展、人材の育成に寄与したい」との申し出を受け「田中恭一オプティカルアワード」を創設した。第1回目の同アワードは、今年9月1日から10月31日の期間に応募を受け付け、選考結果が12月20日発表される。

選考は、同協議会内に設置されたアワード運営委員会がエントリーシートに基づく書類審査の上、学識経験者の意見を参考に各賞を決定する。大賞には賞金100万円（1本）、優秀賞30万円（2本）、入賞10万円（5本）が、田中氏より贈呈される。

近年、メガネに関わるアワードは複数存在しているが、フレームの形状やカラーのファッション面が偏重される傾向が見られる。他方、メガネを形成する要素はフレームに留まらず、レンズ並びに調製上の加工・検査技術技術も大きく関わり、要する各種機器も重要な要素となる。それらの各種課題を克服すべくイノベーションが求められており、眼鏡関連技術開発の活性化を目指して、未完成であっても既成概念にとらわれない実現の可能性のある発想等も応募対象に含まれ、今後の開発・研究活動への助成として賞金を授

与する。

応募は、エントリーシート（<http://aaaichi.pupu.jp/optaward/> からダウンロード）を使用し愛知県眼鏡小売商協同組合までメールで提出。

令和4年1月18日開催の東海眼鏡協議会新春互礼会で表彰式を予定している。



名古屋眼鏡株作成の案内チラシ

本部総会を開催

公社日本眼鏡技術者協会 公社日本眼鏡技術者協会第11回通常総会は、6月17日午後2時より、大阪・東京会場とリモート参加者を結んだオンライン会議で開かれ各議案を原案で承認しました。

木方伸一郎会長は挨拶で「国家資格制度は順調に進んでいる。4月に指定試験機関として厚生労働省に申請し、6月の専門調査委員会で説明してきた。偏に生活者のための国家資格制度という一貫した姿勢を保ちつつ技術者協会会員、業界関係者、厚労省、眼科医会からの協力を得られたことにある。特に眼科医会との話し合いができるようになり、同じ方向へ向かって進んでいこうと一致したのは大きい。指定試験機関として認められたなら公平公正な試験ができるよう準備をしなければならない。同時に生活者のための組織として

再構築するため議論を重ねるステージへと移っていく」と述べた。

2021年度事業計画で、国家資格試験実施への準備として試験機関の申請手続き・技能検定試験のリハーサルの準備および実施を承認した。教育部事業からSS級認定眼鏡士認定試験の日程と生涯教育講習会について報告され、座学は原則通信教育で受講、実技は中止の旨報告された。

質疑応答に続き、岡本育三理事（眼鏡技術者国家資格推進機構代表幹事）が推進機構の活動状況について報告。最後に加藤真代顧問は「夢である国家資格制定が目の前まできている。社会に尽くせる仕事を喜びとし若い人たちにも働き掛けてほしい」、津田節哉顧問は「国家資格は更新の必要がないが、消費者に眼鏡を提供するために常に最新の知識と技術を学ぶ必要がある。その姿勢を崩さないようお願いする」と挨拶し、午後4時閉会した。

第26・27期愛知県眼鏡小売商協同組合

理事長	平岩 幸一	名古屋支部		(16名)
副理事長	石川 洋一 井上 敬康	支部長	石川 洋一	メガネの太陽堂
専務理事	宇佐美 太朗	副支部長	渡辺 博史	資日進堂眼鏡店
理事	天野 賢一 猪子 裕史 小林正一	三河支部		(27名)
	鈴木 雅博 原 重夫 渡辺 博史	支部長	原 重夫	メガネの原
監事	飯田 勝久 大井 清	副支部長	杉浦 文子	スギウラメガネ
名誉顧問	田中 恭一 津田 節哉	尾張支部		(9名)
事務局	尾関 いち子	支部長	鈴木 雅博	鈴木時計店眼鏡部
		副支部長	猪子 裕史	いのこメガネ

※ 各支部右端の数値は令和3年7月時の組合員数

◆ 理事会議事録 ◆

■ 組合員の異動

お く や み